

無線キット セットアップガイド

このたびは、無線キットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本キットを使用することで、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器を、複合機に接続し、文書、写真、ウェブページやメールなどをプリントできます。

本書では、本キットを複合機に取り付けたあと、モバイル機器と接続するために必要な設定について説明します。

本キットを安全にご利用いただくために、本キットをご使用になる前に必ず、本書の「安全にご利用いただくために」、および、複合機のマニュアル『はじめにお読みください』をお読みください。

また、本書の内容は、複合機の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いの複合機の操作方法については、『ユーザーズガイド』をご覧ください。

- 複合機とモバイル機器との接続方法1
- Wi-Fi で接続する2
- Wi-Fi Direct で接続する6
- Wi-Fi Direct の接続を切断する9
- モバイル機器からプリントする9
- エラーコード一覧 10
- 注意制限事項 11
- 安全にご利用いただくために 11
- 主な仕様 12

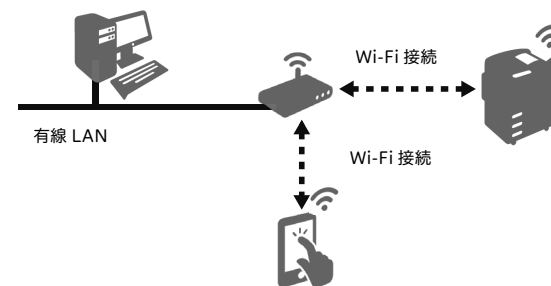
Wi-Fi、Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
Bonjour and AirPrint are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
iBeacon is a trademark of Apple Inc.
IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
Android および Google Play は、Google Inc. の登録商標または商標です。
Mopria は、Mopria Alliance, Inc. の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークです。
無断使用は固く禁じられています。
Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
その他の社名、または商品名等は、各社の登録商標または商標です。
Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

複合機とモバイル機器との接続方法

無線ネットワークで複合機を使用するときの接続方法には、「Wi-Fi 接続」と「Wi-Fi Direct 接続」があり、どちらも複合機の設定が必要です。

■ Wi-Fi 接続

複合機とモバイル機器を無線 LAN アクセスポイント経由で接続します。社内に無線ネットワークがある場合、こちらの設定を行ってください。

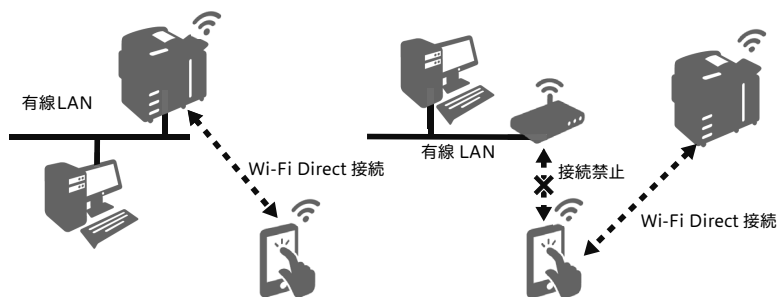


参照

- 詳しい設定方法については、「Wi-Fi で接続する」P.2 を参照してください。

■ Wi-Fi Direct 接続

無線 LAN アクセスポイントを経由せず、複合機とモバイル機器を直接接続します。社内に有線ネットワークしかない場合や、社内に無線ネットワークはあるが、スマートフォンなどを接続させたくない場合は、こちらの設定を行ってください。



補足

- Wi-Fi Direct は、IPv6 やアドホック環境では使用できません。
- Wi-Fi Direct では、同時に 3 台まで複合機に接続できます。

参照

- 詳しい設定方法については、「Wi-Fi Direct で接続する」P.6 を参照してください。

Wi-Fi で接続する

複合機に Wi-Fi 接続の設定をする

補足

- 設定内容によっては、複合機の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。

1 [仕様設定 / 登録] 画面を表示します。

参照

- 詳しくは、『ユーザーズガイド』の「仕様設定」>「仕様設定の流れ」を参照してください。

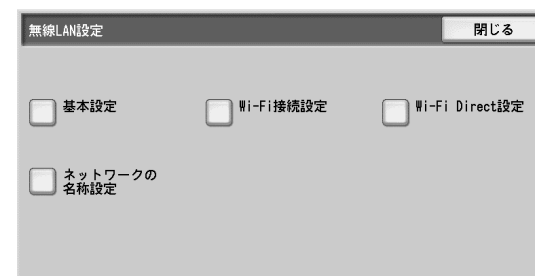
2 [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] を押します。

補足

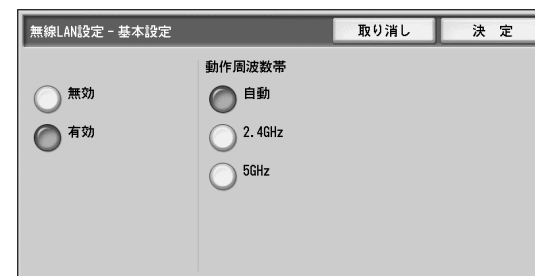
- [無線 LAN 設定] が表示されない場合は、複合機に正しくキットが取り付けられていません。弊社カスタマーエンジニアにお問い合わせください。



3 [基本設定] を押します。

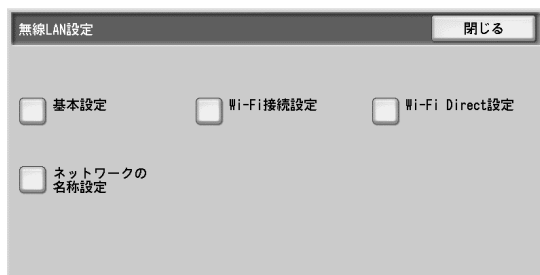


4 [有効] が選択されていることを確認し、[決定] を押します。



5 RADIUSサーバ認証(IEEE802.1X認証)を使用する無線LANアクセスポイントに接続する場合は、CentreWare Internet Services で証明書を設定する必要があります。「CentreWare Internet Services を使って高度なセキュリティ環境に接続する」P.5に進みます。
証明書が不要な接続先に接続する場合は、手順7に進みます。

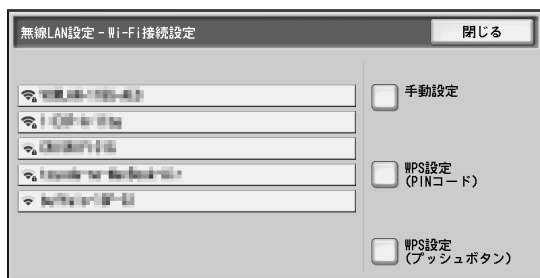
6 [Wi-Fi 接続設定] を押します。



7 次のいずれかの方法で、無線ネットワークに接続します。

補足

- Wi-Fi についての複合機の設定値は、機能設定リストをプリントすることで確認できます。



方法	設定内容	手順の参照先
一覧から選択して接続する *1	表示されている無線LANアクセスポイントの一覧からSSID(無線ネットワークを識別する名前)を選択して接続します。	P.3
手動設定で接続する *1	接続する無線LANアクセスポイントが一覧に表示されていない場合は、SSIDを指定して無線ネットワークに接続します。	P.4

方法	設定内容	手順の参照先
WPS (プッシュボタン方式)で接続する *2	複合機の操作パネルで接続指示をしたあと、2分以内に、お使いの無線LANアクセスポイントに付いているWPSボタンを押して接続します。	P.4
WPS (PINコード方式)で接続する *2	複合機に割り当てられるPINコードを、2分以内に無線LANアクセスポイントに入力して設定します。	P.4

*1:無線LANアクセスポイントのSSIDと、認証情報(WEPキー、パスフレーズなど)が必要になります。無線LANアクセスポイントの情報については、機械管理者またはネットワーク管理者に確認してください。

*2:無線LANアクセスポイントがWPS方式に対応している必要があります。無線LANアクセスポイント側のWPS操作については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

■ 一覧から選択して接続する

1 [Wi-Fi 接続設定] 画面に表示されている一覧から、接続する無線LANアクセスポイントのSSIDを押します。

補足

- アクセスポイントにセキュリティが設定されていない場合は、これで設定は完了です。
- 一覧に表示される無線LANアクセスポイントは、電波が強いものから順に5台までです。



2 アクセスポイントにセキュリティが設定されている場合は、認証情報画面が表示されます。必要な情報を入力して、[決定] を押します。

補足

- アクセスポイントを選択したとき、すでに他のアクセスポイントと接続中だった場合は、接続解除の確認画面が表示されます。[はい(解除する)] を押します。

3 設定が更新されたことを確認できたら [確認] を押します。複合機が再起動し、設定が有効になります。

■ 手動設定で接続する

- 1 [Wi-Fi 接続設定] 画面で [手動設定] を押します。
- 2 使用環境にあわせて各項目を設定し、[決定] を押します。



設定項目		設定内容
SSID		無線ネットワークを識別する名前を設定します。32文字以内の英数字を入力できます。
通信モード		[Infrastructure] または [Ad-hoc] *1 のどちらかに設定します
暗号化設定	暗号化なし	暗号化を設定しません。
	WEP	WEP キーは、4 つまで登録できます。[送信キー] で、その中から使用する WEP キーを選択します。
	WPA2 Personal*2	パスフレーズを設定します。
	Mixed mode Personal (AES/TKIP)*2	
	WPA2 Enterprise*2	認証方式を設定します。
Mixed mode Enterprise (AES/TKIP)*2	PEAP を選択した場合は、さらに [Identity]、[ユーザー名]、[パスワード] を設定します。EAP-TLS や EAP-TTLS を使用する場合は、CentreWare Internet Services で証明書を設定したり、認証方式の詳細設定をする必要があります。 参照 ・CentreWare Internet Services での設定方法については、「CentreWare Internet Services を使って高度なセキュリティ環境に接続する」P.5 を参照してください。	

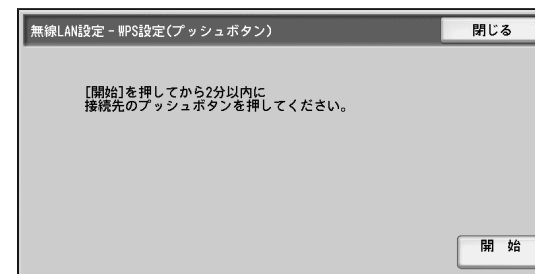
*1:Wi-Fi Direct 接続が有効の場合は、使用できません。

*2:[通信モード] を [Ad-hoc] に設定した場合は、使用できません。

- 3 設定が更新されたことを確認できたら [確認] を押します。複合機が再起動し、設定が有効になります。

■ WPS (プッシュボタン) で接続する

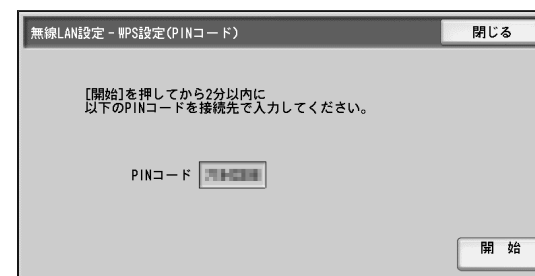
- 1 [Wi-Fi 接続設定] 画面で [WPS 設定 (プッシュボタン)] を押します。
- 2 [開始] を押してから2分以内に、無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押します。



- 3 複合機の画面で、設定が更新されたことを確認できたら [確認] を押します。複合機が再起動し、設定が有効になります。

■ WPS (PIN コード方式) で接続する

- 1 [Wi-Fi 接続設定] 画面で [WPS 設定 (PIN コード方式)] を押します。
- 2 [開始] を押してから2分以内に、表示された PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力します。



- 3 複合機の画面で、設定が更新されたことを確認できたら [確認] を押します。複合機が再起動し、設定が有効になります。

CentreWare Internet Servicesを使って高度なセキュリティ環境に接続する

複合機の Wi-Fi 接続では、IEEE802.1X 認証を使用できます。IEEE802.1X 認証方式を使用する場合は、認証局に証明書の発行を依頼し、発行された証明書を CentreWare Internet Services で複合機にインポートします。各 IEEE802.1X 認証方式と必要な証明書は、以下のとおりです。

項目	EAP-TLS	EAP-TTLS	PEAP
CA 証明書	必須	必須	任意 *
クライアント証明書	必須	-	-

*:サーバー証明書検証を行う場合に必要です。サーバー証明書検証は CA 証明書が登録されている場合に行われます。

インポートできる証明書の規格は、以下のとおりです。

- X.509 証明書 (DER/PEM) (ルート CA 証明書)
- PKCS#7 (DER) (ルート CA 証明書)
- PKCS#12 (DER) (デバイス証明書 (= クライアント証明書) / ルート CA 証明書)

補足

- CentreWare Internet Services で証明書をインポートするには、HTTP の通信を暗号化する設定がされている必要があります。CentreWare Internet Services の操作、および HTTP 通信を暗号化する方法については、『ユーザズガイド』を参照してください。
- 証明書の種類については、『ユーザズガイド』を参照してください。

1 Web ブラウザーのアドレス入力欄に「https:// (複合機の IP アドレス)」を入力し、<Enter> キーを押し、CentreWare Internet Services を起動します。

2 証明書をインポートします。

- 1) [プロパティ] タブをクリックします。
- 2) 表示された画面で機械管理者 ID とパスワードを入力して [OK] をクリックします。
- 3) [セキュリティ] > [証明書の設定] をクリックします。
- 4) [証明書のインポート] をクリックします。
- 5) [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
- 6) [パスワードの確認] に、同じパスワードを入力します。
- 7) [証明書] にインポートするファイル名を指定します。
- 8) [インポート] ボタンをクリックします。

9) Web ブラウザーの再読み込みを行います。

3 証明書を設定します。お使いの環境の認証方式によって設定方法が異なります。

- 1) [セキュリティ] > [証明書管理] をクリックします。[証明書管理] 画面が表示されます。
- 2) CA 証明書を設定します。[カテゴリ] で [信頼されたルート証明機関] を、[証明書の目的] で [Wi-Fi (ルート CA 証明書)] を選択します。
- 3) [一覧の表示] ボタンをクリックします。[証明書の一覧] 画面が表示されます。
- 4) 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] ボタンを押します。[証明書の詳細] 画面が表示されます。
- 5) [証明書の選択] ボタンをクリックします。表示されている証明書が、複合機で使用する証明書として設定されます。認証方式が EAP-TTLS および PEAP の場合は、手順 11) に進みます。
- 6) 認証方式が EAP-TLS の場合は、クライアント証明書をインポートしたあとで、再起動します。[セキュリティ] > [証明書管理] をクリックします。
- 7) [カテゴリ] で [本体] を、[証明書の目的] で [Wi-Fi (クライアント)] を選択します。
- 8) [一覧の表示] ボタンをクリックします。[証明書の一覧] 画面が表示されます。
- 9) 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] ボタンを押します。[証明書の詳細] 画面が表示されます。
- 10) [証明書の選択] ボタンをクリックします。表示されている証明書が、複合機で使用する証明書として設定されます。
- 11) [再起動] をクリックします。複合機が再起動し、設定した値が反映されます。

4 Wi-Fi 接続の設定をします。

- 1) [プロパティ] タブをクリックします。

補足

- 機械管理者 ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、入力します。
- 2) [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [Wi-Fi] をクリックします。[Wi-Fi] 画面が表示されます。
 - 3) [SSID] に接続先の SSID を入力します。
 - 4) [通信モード] を選択します。

5 セキュリティの設定をします。お使いの環境の認証方式によって、設定方法が異なります。

1) [暗号化設定] で、[WPA2 Enterprise] または [Mixed Mode Enterprise(AES/TKIP)] を選択します。

2) [認証方式] を選択します。

3) [Identity] に EAP-Identity の値を入力します。
認証方式が EAP-TLS の場合は、手順 6) に進みます。

補足

・ EAP-Identity については、RADIUS サーバー管理者に確認してください。

4) 認証方式が PEAPv0 MS-CHAPv2、EAP-TTLS/PAP、EAP-TTLS/CHAP、EAP-TTLS/MS-CHAPv2 の場合は、[ユーザー名] および [パスワード] に WPA-Enterprise 認証用のログインユーザー名およびパスワードを設定します。

5) [パスワードの確認入力] フィールドに、確認のためパスワードをもう一度入力します。

6) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。

7) [再起動] をクリックします。複合機が再起動し、設定した値が反映されます。

Wi-Fi Direct で接続する

複合機に Wi-Fi Direct 接続の設定をする

補足

- ・ 設定内容によっては、複合機の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。
- ・ CentreWare Internet Services を使って設定することもできます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1 [仕様設定 / 登録] 画面を表示します。

参照

- ・ 詳しくは、『ユーザーズガイド』の「仕様設定」>「仕様設定の流れ」を参照してください。

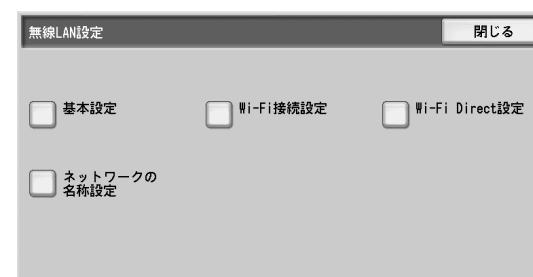
2 [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] を押します。

補足

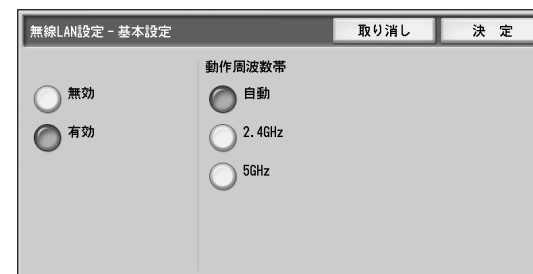
- ・ [無線 LAN 設定] が表示されない場合は、複合機に正しくキットが取り付けられていません。弊社カスタマーエンジニアにお問い合わせください。



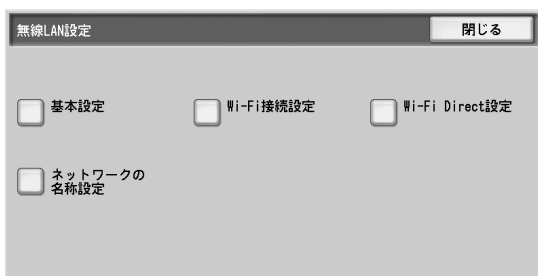
3 [基本設定] を押します。



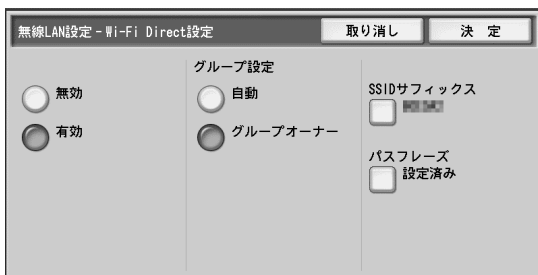
4 [有効] が選択されていることを確認し、[決定] を押します。



5 [Wi-Fi Direct 設定] を押します。



6 [有効] を選択し、[決定] を押します。



■グループ設定について

[グループ設定] では、次の項目が設定できます。初期設定はグループオーナーです。必要に応じて、変更してください。

設定項目	設定内容
自動	複合機をグループオーナーに固定しない場合に選択します。
デバイス名	Wi-Fi Direct ネットワークで識別する複合機の名前を、32文字以内の英数字で入力します。モバイル機器から接続先を選択するときは、ここで指定した名前が表示されます。
グループオーナー	複合機を Wi-Fi ネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線 LAN アクセスポイントと同様に、モバイル機器から複合機を検出できるようになります。
SSIDサフィックス	Wi-Fi Direct で識別するネットワークの名前を表示します。「DIRECT-」に続く部分を 23文字以内の英数字で入力できます。モバイル機器から接続先のネットワークを選択するときは、ここで指定した名前が表示されます。
パスフレーズ	パスフレーズとして8～63文字の英数字を入力できます。モバイル機器から Wi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスフレーズを入力します。

注記

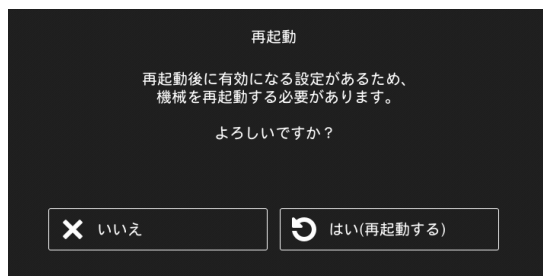
- ・iOS 端末など、WiFi Direct に対応していない機器を接続する場合は、[グループオーナー] に設定されている必要があります。

7 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

8 [はい (再起動する)] を押します。複合機が再起動し、設定が更新されます。

補足

- Wi-Fi Direct についての複合機の設定値は、機能設定リストをプリントすることで確認できます。



モバイル機器と接続する

モバイル機器から複合機に Wi-Fi Direct で接続する方法には、「自動接続」と「手動接続」があり、お使いのモバイル機器によって異なります。

補足

- 操作方法は、モバイル機器によって異なります、詳しくはお使いのモバイル機器の取扱説明書を参照してください。
- Mopria[®]を使用する場合は、「自動接続する」の手順で設定してください。

■ 自動接続する (Android OS)

- 1 モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、Wi-Fi を [ON] にします。
- 2 [] (メニュー) をタップし、[Wi-Fi Direct] を選択します。
- 3 一覧から接続する複合機を選択します。

補足

- 複合機に設定されているデバイス名が表示されます。複合機のデバイス名は、機能設定リストをプリントすることで確認できます。

4 複合機の操作パネルに次の画面が表示されます。接続するモバイル機器名を確認し、[はい (開始する)] を押します。



■ 手動接続する (Android OS/iOS)

補足

- 手動接続する場合は、複合機で「機械管理者モードに入り」、[仕様設定 / 登録] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] > [Wi-Fi Direct 設定] の [グループ設定] が [グループオーナー] に設定されている必要があります。

- 1 ホーム画面で [機械確認] を押します。
- 2 [無線 LAN] を押します。



3 [Wi-Fi Direct 接続状況] の [SSID] と [パスワード] を確認します。



- 4 モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、Wi-Fi を [ON] にします。
- 5 一覧から、手順 3 で確認した複合機の SSID を選択します。
- 6 手順 3 で確認した複合機のパスフレーズを入力し、接続します。

補足

- ・ Wi-Fi Direct の接続に失敗する場合に、同時接続上限 (3 台) に達している可能性があります。現在の接続数は、複合機の操作パネルの [機械確認] > [無線 LAN] 画面か、CentreWare Internet Services の Wi-Fi Direct 画面で確認できます。既に 3 台の端末が接続されている場合は、以下の Wi-Fi Direct 接続の切断を実行して下さい。

Wi-Fi Direct の接続を切断する

グループオーナー動作時の Wi-Fi Direct が接続台数の上限 (3 台) に達してしまい、他の端末が接続出来ない場合、次のように接続を切断することができます。

複合機のメニューからモバイル機器との接続を解除する方法

- 1 [機械確認] > [無線 LAN] の [Wi-Fi Direct 切断] を選択する。

現在接続されている全てのモバイル機器の接続が切断されます。

補足

- ・ 切断したモバイル機器からの自動接続を防ぐため、本操作により切断したモバイル機器とは 30 秒間 Wi-Fi Direct 接続できません。

- 2 [仕様設定 / 登録] > [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [無線 LAN 設定] の [グループ設定] メニューで、「SSID サフィックス」または「パスフレーズ」を変更する。

新しい SSID、パスフレーズで Wi-Fi Direct のグループが再構築されるため、モバイル機器との接続が解除されます。

補足

- ・ 接続解除されたモバイル機器と複合機を再接続する場合は、改めてモバイル機器の Wi-Fi 設定画面で新しい SSID の選択とパスフレーズの入力が必要となります。

接続中のモバイル機器の Wi-Fi 設定画面から複合機との接続を解除する方法

- 1 モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、Wi-Fi の接続を解除します。

- 1) モバイル機器の "自動接続" が有効の場合：

Wi-Fi の接続を解除しても、モバイル機器は自動で複合機の Wi-Fi Direct と再接続します。そのため、新たなモバイル機器の接続の前に自動接続してしまい、再び接続上限になってしまう可能性があります。その場合は、モバイル機器の "自動接続" を無効に設定するか、手順 2 の設定削除を実行して下さい。

- 2) モバイル機器の "自動接続" が無効の場合：

Wi-Fi 接続を解除すると、モバイル機器の Wi-Fi 設定画面から再接続を実行するまで接続が解除されます。

補足

- ・ モバイル機器によって "自動接続" の切り替えが出来ない場合があります。

- 2 モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、接続中の複合機の SSID を選択し、モバイル端末に保存された Wi-Fi 接続設定情報を削除します。

補足

- ・ 接続解除されたモバイル機器と複合機を再接続する場合は、改めてモバイル機器の Wi-Fi 設定画面で新しい SSID の選択とパスフレーズの入力が必要となります。

モバイル機器からプリントする

Print Utility (Android OS/iOS) や AirPrint (iOS)、Mopria[®] (Android OS) で、モバイル機器から複合機にプリントできます。ここでは、Android 端末から Print Utility を使って、プリントする例を説明します。

補足

- ・ Print Utility for Android は Google Play[™] から、Print Utility for iOS は App Store から無料でダウンロードできます。
- ・ モバイル機器の操作方法については、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。
- ・ Print Utility については、弊社公式サイトをご覧ください。

- 1 [Fuji Xerox Print Utility] を起動します。
- 2 [プリント] をタップし、プリントしたい項目を選択します。
- 3 [プリンター未設定] をタップし、使用したい複合機を選択してプリントします。

補足

- ・ 使用したい複合機が表示されない場合は、[IP アドレス指定に切り替える] をタップして、複合機の Wi-Fi Direct の IP アドレスを設定してください。IP アドレスは、「自動接続する (Android OS/iOS)」P.8 の手順を参照して確認してください。

iBeacon for Printers を有効にする

AirPrint を使ってプリントする際に、iOS 端末の「アクション」>「プリント」>「プリンタ」で近くにある複合機を選択できるようにします。PIN の入力などは必要ありません。

iBeacon for Printers 機能を使用すると、異なるサブネットに接続されているために Bonjour で見つけることのできない複合機を検索することができます。

- 1 [Web ブラウザーのアドレス入力欄に「https:// (複合機の IP アドレス)」を入力し、<Enter> キーを押し、CentreWare Internet Services を起動します。

2 [プロパティ] タブをクリックします。

補足

- ・ 機械管理者 ID とパスワードを求める画面が表示された場合は、入力します。

3 [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Bluetooth low energy] をクリックします。[Bluetooth low energy] 画面が表示されます。

4 [ポート (Bluetooth low energy)] のチェックボックスを選択します。

5 [iBeacon for Printers] のチェックボックスを選択します。

6 [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。

7 [再起動] をクリックします。複合機が再起動し、BLE が有効になります。

エラーコード一覧

複合機のディスプレイにエラーコードが表示された場合は、次の表を参照して、処置してください。

参照

- ・ 次の表に記載されていないエラーコードについては、『ユーザーズガイド』を参照してください。

エラーコード	原因/処置
018-424	<p>【原因】 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が本機に登録されていません。</p> <p>【処置】 本機に WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。</p> <p>WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。</p>
018-425	<p>【原因】 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が不正です。</p> <p>【処置】 証明書の内容を確認して、本機に有効な WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。</p> <p>WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。</p>

エラーコード	原因/処置
018-426	<p>【原因】 WPA-Enterprise 認証のサーバー証明書が不正です。</p> <p>【処置】 サーバー証明書の内容（有効期限、証明書の形式、署名アルゴリズムなど）を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有効なサーバー証明書を入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-427	<p>【原因】 Wi-Fi IP アドレスと Wi-Fi Direct IP アドレスが重複しています。</p> <p>【処置】 Wi-Fi Direct DHCP サーバーの IP アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-428	<p>【原因】 無線 LAN モジュールが正しく接続されていません。</p> <p>【処置】 本機の電源を切り、無線 LAN モジュールが取り付けられていることを確認してください。</p>
018-429	<p>【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。</p> <p>【処置】 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。</p>
018-430	<p>【原因】 Wi-Fi Direct 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。</p> <p>【処置】 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。</p>
018-431	<p>【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 1 または DHCPv6 自動設定アドレス）が重複しています。</p> <p>【処置】 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-432	<p>【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 2）が重複しています。</p> <p>【処置】 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-433	<p>【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 3）が重複しています。</p> <p>【処置】 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>

エラーコード	原因/処置
018-434	<p>【原因】 Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。</p> <p>【処置】 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。</p>
018-435	<p>【原因】 Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。</p> <p>【処置】 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-436	<p>【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（リンクローカルアドレス）が重複しています。</p> <p>【処置】 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。</p>
018-439	<p>【原因】 [通信モード] が [Ad-hoc] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。</p> <p>【処置】 [通信モード] を [Infrastructure] に変更してください。</p>
018-440	<p>【原因】 [IP 動作モード] が [IPv6 モード] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。</p> <p>【処置】 [IP 動作モード] を [デュアルスタック] または [IPv4 モード] に変更してください。</p>
018-441	<p>【原因】 [動作周波数帯] が [5GHz] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。</p> <p>【処置】 [動作周波数帯] を [自動] または [2.4GHz] に変更してください。</p>
018-443	<p>【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。</p> <p>【処置】 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。</p>
018-444	<p>【原因】 Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。</p> <p>【処置】 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。</p>

注意制限事項

- 有線 LAN (Ethernet1) がプライマリーネットワークで無線 LAN を使用し Wi-Fi 接続をする場合、または Wi-Fi Direct 接続をする場合は、次の機能は使用できません。

- ネットワークスキャナーユーティリティ 3
- スキャナー (PC 保存)
- スキャナー (WSD)
- Print Utility のスキャン機能

補足

- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

安全にご利用いただくために

⚠ 警告



- ・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- ・また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- ・本製品は工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- ・本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - ・産業・化学・医療用機器
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - ① 構内無線局 (免許を要する無線局)
 - ② 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)
- ・次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。
 - ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局)
 - ・特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)
- ・本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。

無線 LAN 使用時のセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。
本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

主な仕様

本キットの主な仕様を記載します。製品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ Wi-Fi

項目	内容
規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 1Tx1R(理論値 390Mbps)

項目	内容
伝送方式 ^{*1}	IEEE 802.11a 5 GHz (変調方式: OFDM) IEEE 802.11b 2.4 GHz (変調方式: DS-SS) IEEE 802.11g 2.4 GHz (変調方式: OFDM) IEEE 802.11n 5 GHz/2.4 GHz (変調方式: OFDM) IEEE 802.11ac 5 GHz (変調方式: OFDM) ・ Aggregation 機能の A-MPDU 受信および A-MSDU ・ HT20、HT40 モード (ハイスループットモード)、 VHT80 モード (ベリハイスループットモード)
認証 / 暗号方式 ^{*2}	WPA2-PSK (AES) Mixed mode Personal (AES/TKIP) WEP (64bit / 128bit) WPA2-Enterprise (AES) Mixed mode Enterprise (AES/TKIP) IEEE 802.1x (PEAPv0/ EAP-TLS / EAP-TTLS)
対応チャンネル ^{*3}	2.4 GHz 帯: 1 ~ 13 ch 5 GHz 帯: 36 ~ 64 ch、100 ~ 140 ch
アンテナ	内蔵 2.4 GHz / 5 GHz デュアルバンド
大きさ	45 x 35 x 33 mm
質量	22 g

*1:Wi-Fi Direct モードは IEEE 802.11a/b/g/n、Wi-Fi Adhoc モードは IEEE802.11b/g。

*2:Wi-Fi Direct モードは WPA2-PSK (AES)、Wi-Fi Adhoc モードは WEP。

*3:Wi-Fi Adhoc モードは 2.4 GHz 帯のみ。

注記

- ・ Wi-Fi Direct モードは Wi-Fi Infrastructure モードと同時動作(コンカレントモード)が可能です。
- ・ Wi-Fi Direct モードで接続できる機器は最大 3 台です。

■ Bluetooth[®]

項目	内容
規格	Version 4.2 (LE)
対応チャンネル	2402 ~ 2480 MHz (帯域幅 2 MHz)
アンテナ	内蔵 2.4 GHz
大きさ	45 x 35 x 33 mm
質量	22 g

Wireless Network Kit Setup Guide

Thank you for purchasing Wireless Network Kit (hereafter referred to as “the kit”). The kit enables you to connect mobile devices such as smart phones and tablet PCs to the multifunction device (hereafter referred to as “the device”) and to print documents, photos, Web pages and e-mails. This guide explains how to configure required settings to connect your mobile devices to the device after the kit has been installed. Before using the kit, be sure to read the Safety Notes provided with the device. The guide assumes that you are familiar with and knowledgeable of the device. For more information on how to use the device, refer to the User Guide.

- WLAN Network Configuration 1
- Wi-Fi Connection 2
- Wi-Fi Direct Connection 5
- Disconnecting the Wi-Fi Direct 8
- Printing from Mobile Device 8
- Error Codes 9
- Notes and Restrictions 9
- Specifications 10

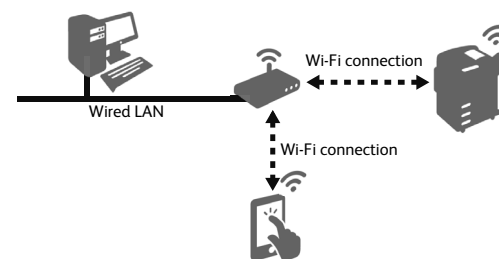
Wi-Fi and the Wi-Fi Direct are registered trademarks of the Wi-Fi Alliance. Bonjour and AirPrint are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iBeacon is a trademark of Apple Inc. IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license. Android and Google Play are registered trademarks of Google Inc. Mopria is a registered trademark and a service mark of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited. Bluetooth is a registered trademark owned by Bluetooth SIG, Inc. Other company names or product names are registered trademarks or trademarks of each company. Xerox, Xerox and Design, Fuji Xerox and Design, as well as CentreWare are registered trademarks or trademarks of Xerox Corporation in Japan and/or other countries.

WLAN Network Configuration

There are two types of connection methods to access the device via a wireless LAN network: Wi-Fi Connection and Wi-Fi Direct Connection. For either method, you need to configure the settings on the device.

■ Wi-Fi Connection

Connect your mobile device to the device via a wireless LAN access point. Use this method if the environment is Wi-Fi-enabled.

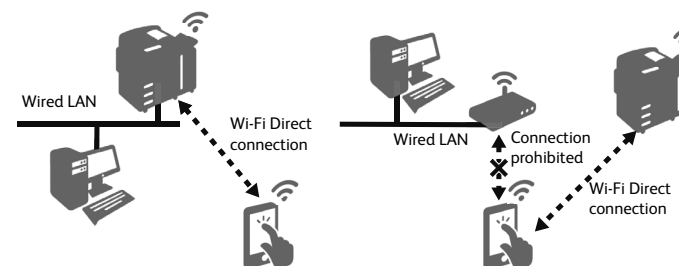


Reference

- For more information, refer to "Wi-Fi Connection" (P.2).

■ Wi-Fi Direct Connection

This connection method allows you to directly connect your mobile device to the device without requiring a wireless LAN access point. Use this method if there is no Wi-Fi-enabled network in your office, or if you do not want mobile devices such as smartphones to connect to the device through the Wi-Fi-enabled network in your office.



Note

- Wi-Fi Direct cannot be used in an IPv6 or Ad-hoc environment.
- Wi-Fi Direct accepts up to three concurrent mobile connections.

Reference

- For more information, refer to "Wi-Fi Direct Connection" (P.5).

Wi-Fi Connection

Configuring Wi-Fi Connection Settings

Note

- Rebooting the device may be required depending on the settings. When a message is displayed on the screen, follow the message and reboot the device.

1 Display the [Tools] screen.

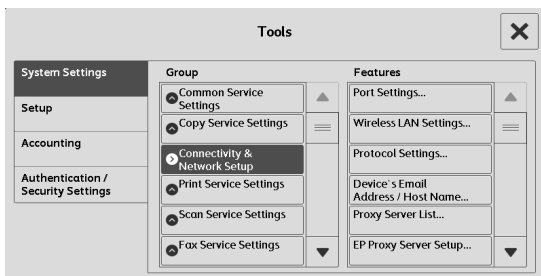
Reference

- For the detailed procedure, refer to "Tools" > "System Settings Procedure" in the User Guide.

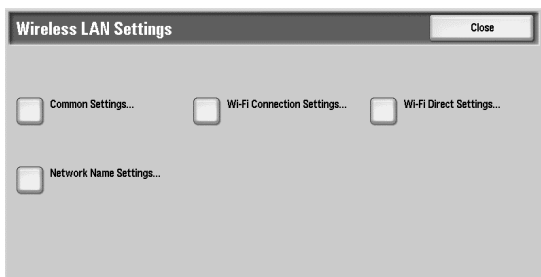
2 Select [System Settings] > [Connectivity & Network Setup] > [Wireless LAN Settings].

Note

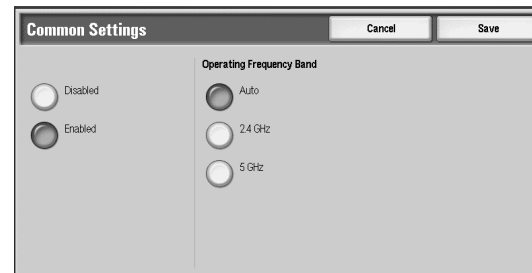
- If [Wireless LAN Settings] is not displayed, the kit is not attached properly. Contact our Customer Support Center.



3 Select [Common Settings...].



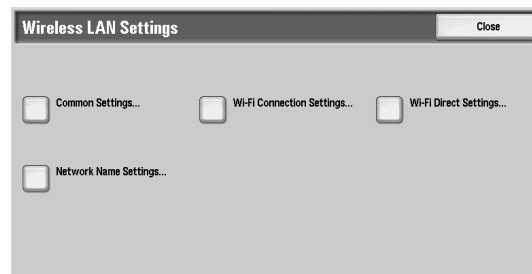
4 Make sure that [Enabled] is selected, and select [Save].



5 When you connect to an access point, which uses RADIUS server authentication, settings from the CentreWare Internet Services are required. Proceed to "Connecting to a High Security Network via CentreWare Internet Services" (P.4) and configure the required settings.

When you connect to an access point, which does not required certificates, proceed to step 7.

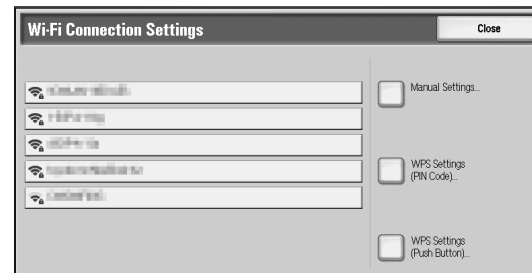
6 Select [Wi-Fi Connection Settings...].



7 Connect to the Wi-Fi network using the one of the following methods.

Note

- You can check the settings configured for Wi-Fi feature in a Configuration Report.



Method	Settings	Reference
From the list ^{*1}	Select the desired SSID (name to identify the Wi-Fi network) from the list of wireless LAN access points and connect.	P.3
Manual connection ^{*1}	If the desired SSID is not displayed in the list, specify the SSID and connect to the Wi-Fi network.	P.3
Using WPS (push button) ^{*2}	After sending a connection request from the device, press the WPS button on your wireless LAN access point within two minutes.	P.4
Using WPS (PIN code) ^{*2}	Enter the PIN code displayed on the device to your wireless LAN access point within two minutes.	P.4

*1 :The SSID of the wireless LAN access point and authentication information (such as WEP key and passphrase) are required. For more information on the wireless LAN access point, ask your system administrator or network administrator.

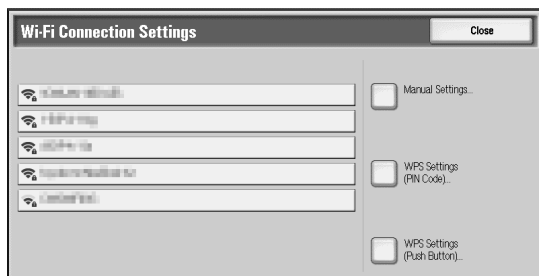
*2 :The wireless LAN access point must support WPS. For information on the WPS operation on the wireless LAN access point, refer to the manuals for the wireless LAN access point.

■ Selecting WLAN Access Point from the List

- 1 Select the SSID of the desired wireless LAN access point from the list displayed on the [Wi-Fi Connection Settings] screen.

Note

- If the wireless LAN access point does not set security, the setting is now complete.
- Up to five wireless LAN access points are listed with the strongest access point first.



- 2 If the wireless LAN access point sets security, the authentication information screen appears. Enter the required information and select [Save].

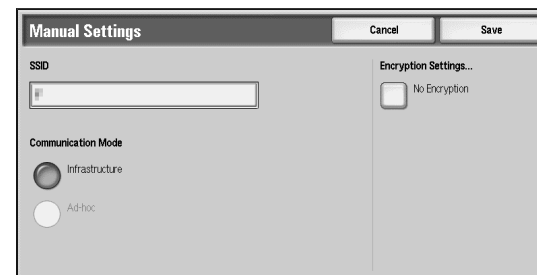
Note

- When you select an access point and the device has already been connected to another access point, the disconnection confirmation screen appears. Select [Yes].

- 3 After you confirm the update, select [OK]. The device reboots and the setting becomes effective.

■ Connecting to WLAN Network Manually

- 1 Select [Manual Settings...] on the [Wi-Fi Connection Settings] screen.
- 2 Set required settings for your environment, select [Save].



Setting Items		Description
SSID		Set the name to identify the Wi-Fi network. You can use up to 32 alphanumeric characters.
Communication Mode		Select either [Infrastructure] or [Ad-hoc] ^{*1} .
Encryption Settings...	No Encryption	Does not set encryption.
	WEP	Up to four WEP keys can be registered. Select the desired WEP key in the [Transmit Key] screen.
	WPA2 Personal ^{*2}	Set the passphrase.
	Mixed Mode Personal (AES / TKIP) ^{*2}	
	WPA2 Enterprise ^{*2}	Set the authentication method.
Mixed Mode Enterprise (AES / TKIP) ^{*2}	When PEAP is selected, you need to set [Identity], [User Name], and [Password]. When EAP-TLS or EAP-TTLS is selected, you need to configure certificates and authentication settings on CentreWare Internet Services.	
		Reference <ul style="list-style-type: none"> • For information on the settings using CentreWare Internet Services, refer to "Connecting to a High Security Network via CentreWare Internet Services" (P.4).

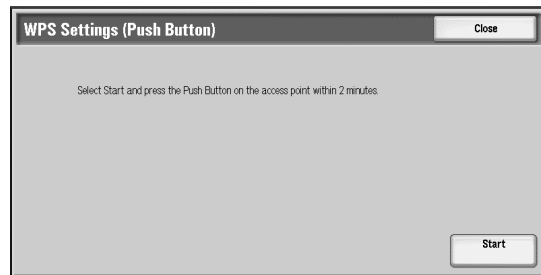
*1 :[Ad-hoc] is not available when Wi-Fi Direct connection is enabled.

*2 :The encryption methods are not available when [Communication Mode] is set to [Ad-hoc].

- 3 After you confirm the update, select [OK]. The device reboots and the setting becomes effective.

■ Using WPS (Push Button)

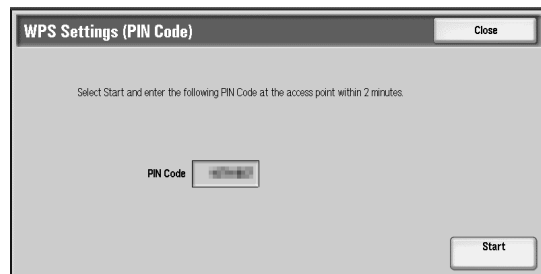
- 1 Select [WPS Settings (Push Button)...] on the [Wi-Fi Connection Settings] screen.
- 2 Select [Start] and press the WPS push button on the wireless LAN access point within two minutes.



- 3 After you confirm the update, select [OK]. The device reboots and the setting becomes effective.

■ Using WPS (PIN Code)

- 1 Select [WPS Settings (PIN Code)...] on the [Wi-Fi Connection Settings...] screen.
- 2 Select [Start] and enter the PIN Code displayed on the screen to the wireless LAN access point within two minutes.



- 3 After you confirm the update, select [OK]. The device reboots and the setting becomes effective.

Connecting to a High Security Network via CentreWare Internet Services

The Wi-Fi connection feature on the device supports IEEE802.1X authentication. To use IEEE802.1X authentication method, which requires a certificate, get the necessary certificate issued by the certificate authority and import it to the device from the CentreWare Internet Services.

The required certificates on each IEEE802.1X authentication method are as follows.

Item	EAP-TLS	EAP-TTLS	PEAP
CA Certificate	Necessary	Necessary	Optional*
Client Certificate	Necessary	-	-

* :Necessary when server certificate verification is enabled. Server certificate verification is performed when a CA certificate is registered.

The kit supports the following certificates:

- X509 certificate (DER/PEM) (root CA certificate)
- PKCS#7 (DER) (root CA certificate)
- PKCS#12 (DER) (device certificate (=client certificate)/root CA certificate)

Note

- To import a certificate via CentreWare Internet Services, HTTP communication must be encrypted. For more information on CentreWare Internet Services operation and how to set encryption for HTTP communication, refer to the User Guide.
- For information on the supported certificates, refer to the User Guide.

- 1 Enter the device's IP address in the address box on the Web browser, and press the <Enter> key to start CentreWare Internet Services.
- 2 Import a certificate.
 - 1) Click the [Properties] tab.
 - 2) Enter the system administrator's user ID and passcode and click [OK].
 - 3) Click [Security] > [Device Digital Certificate Management].
 - 4) Click [Upload Signed Certificate].
 - 5) Enter the password of the certificate for [Password].
 - 6) Enter the password again for [Retype Password].
 - 7) Type the name of the file to be imported in [Certificate].
 - 8) Click [Import].
 - 9) Refresh the web browser.

3 Set the certificate. The procedure varies depending on the certificate method.

- 1) Click [Security] > [Certificate Management].
The [Certificate Management] screen appears.
- 2) Configure a CA certificate. Select [Trusted Certificate Authorities] for [Category] and [Wi-Fi (Root CA Certificate)] for [Certificate Purpose].
- 3) Click the [Display the list] button. The [Certificate List] screen appears.
- 4) Select the check box next to the certificate to be set, and click the [Certificate Details] button. The [Certificate Details] screen appears.
- 5) Click [Use this certificate]. The device sets the displayed certificate as the certificate to use on the device.
When EAP-TTLS or PEAP is selected for the authentication method, proceed to step 11).
- 6) For EAP-TLS authentication method, once you imported the client certificate, reboot the device. Click [Security] > [Certificate Management].
- 7) Select [Local Device] for [Category] and [Wi-Fi (Client)] for [Certificate Purpose].
- 8) Click the [Display the list] button. The [Certificate List] screen appears.
- 9) Select the check box next to the certificate to be set, and click the [Certificate Details] button. The [Certificate Details] screen appears.
- 10) Click [Use this certificate].
The device sets the displayed certificate as the certificate to use on the device.
- 11) Click [Reboot Device]. The device is rebooted and the settings are applied.

4 Configure Wi-Fi connection settings.

- 1) Click the [Properties] tab.

Note

- If the device prompts you for the system administrator's user ID and passcode, enter them.

- 2) Click [Connectivity] > [Physical Connections] > [Wi-Fi].

- 3) Enter the SSID in [SSID].

- 4) Select the communication mode in [Communication Mode].

5 Configure security settings.

The procedure varies depending on the selected certificate method.

- 1) Select [WPA2 Enterprise] or [Mixed Mode Enterprise (AES / TKIP)] in [Encryption Settings].

- 2) Select the authentication method.

- 3) Enter the EAP-Identity value in [Identity]. When EAP-TLS is selected for the authentication method, proceed to step 6).

Note

- Ask your RADIUS server administrator for the EAP-Identity.

- 4) For PEAPv0 MS-CHAPv2, EAP-TTLS/PAP, EAP-TTLS/CHAP, or EAP-TTLS/MS-CHAPv2, enter the login user name and password for WPA-Enterprise authentication in [User Name] and [Password].

- 5) Retype the password in the [Retype Password] field for confirmation.

- 6) Click [Apply].

- 7) Click [Reboot Device]. The device is rebooted and the settings are applied.

Wi-Fi Direct Connection

Configuring Wi-Fi Direct Connection Settings

Note

- Rebooting the device may be required depending on the settings. When a message displayed on the screen, follow the message and reboot the device.
- You can also set these settings from CentreWare Internet Services. For more information, refer to the online help of CentreWare Internet Services.

- 1 Display the [Tools] screen.

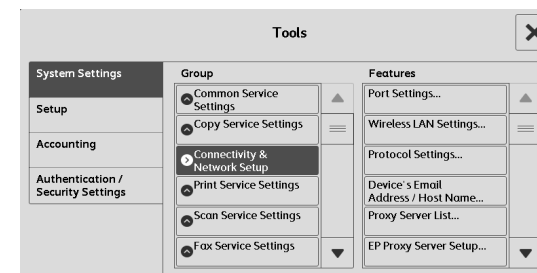
Reference

- For the detailed procedure, refer to "Tools" > "System Settings Procedure" in the User Guide.

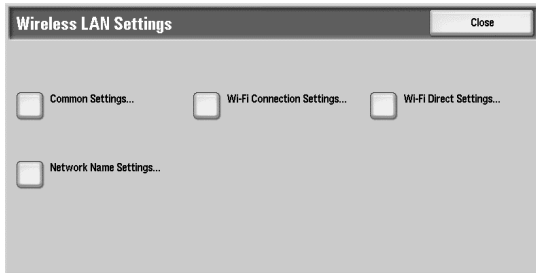
- 2 Select [System Settings] > [Connectivity & Network Setup] > [Wireless LAN Settings].

Note

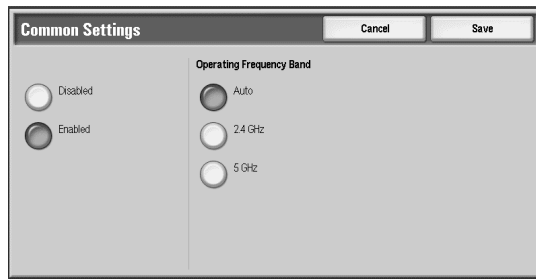
- If [Wireless LAN Settings] is not displayed, the kit is not attached properly. Contact our Customer Support Center.



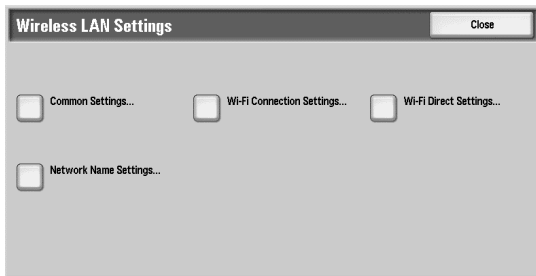
3 Select [Common Settings...].



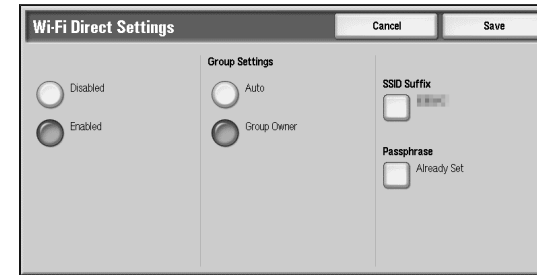
4 Make sure that [Enabled] is selected, and select [Save].



5 Select [Wi-Fi Direct Settings...].



6 Select [Enabled], and select [Save].



■ Group Settings

The default setting is [Group Owner]. You can change the following for [Group Settings] as required.

Setting Items	Description
Auto	Select [Auto] when you do not want to fix the device as a group owner.
Device Name	Enter the name to identify the Wi-Fi Direct network with up to 32 single-byte characters. The name specified here will be displayed in the connection destination list.
Group Owner	Set the device as a group owner of the Wi-Fi network so that the device can be detected from the mobile devices as with wireless LAN access points.
SSID Suffix	Displays the name to be identified over the Wi-Fi Direct network. Enter the name with up to 23 single-byte characters. The name specified here will be displayed as "DIRECT-xxxxx" in the connection destination list when you select a network to connect.
Passphrase	Enter the passphrase with 8 to 63 alphanumeric characters. When you connect to a Wi-Fi network, enter the passphrase displayed here.

Important

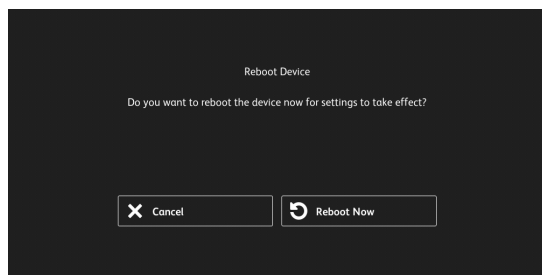
- To connect devices not compatible with Wi-Fi Direct, such as iOS devices, [Group Owner] must be selected.

7 Select [Close] repeatedly until the [Tools] screen is displayed.

8 Click [Reboot Now]. The device reboots and the setting becomes effective.

Note

- You can check the settings configured for Wi-Fi Direct feature in a Configuration Report.



Connecting Mobile Device

To connect your mobile device to the device, you can use either automatic or manual connection. The methods varies depend on your mobile device.

Note

- The operation varies by mobile devices. For more information, refer to the instruction manual for your mobile device.
- When using Mopria[®], specify these settings from the Auto Connect procedures below.

■ Auto Connect on Android OS

1 Open the Wi-Fi settings screen on your Android device and turn on Wi-Fi.

2 Tap [☰] (menu) and select [Wi-Fi Direct].

3 Tap the connection target (the device name) from the list.

Note

- The name set on the device appears. You can check the device name in a Configuration Report.

4 The following screen appears on the control panel of the device. Select the mobile device to connect and press [Yes].



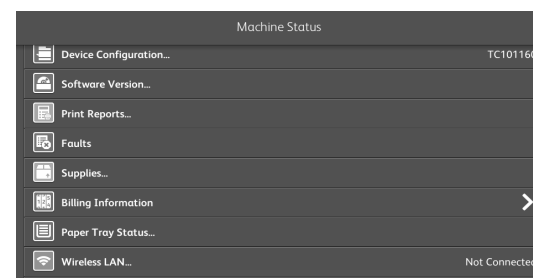
■ Manual Connect on Android OS/iOS

Note

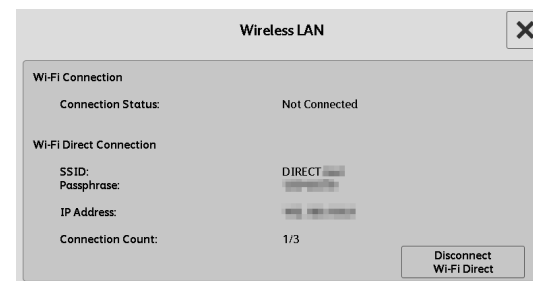
- To connect mobile devices manually, [Group Owner] must be selected for [Group Settings] under [System Settings] > [Connectivity & Network Setup] > [Wireless LAN Settings] > [Wi-Fi Direct Settings...] in the System Administration mode on the device.

1 Select [Machine Status] on the Home screen.

2 Press [Wireless LAN...].



3 Check [SSID:] and [Passphrase:] under [Wi-Fi Direct Connection].



4 Open the Wi-Fi settings screen on your mobile device and turn on Wi-Fi.

5 From the list, tap the SSID for the device checked on Step 3.

6 Enter the passphrase for the device checked on Step 3.

Note

- When Wi-Fi Direct connection fails, the number of concurrent connections may have reached the upper limit (up to 3 devices). Check the current number of connections on [Wireless LAN] screen under [Machine Status] on the control panel of the device, or the Wi-Fi Direct screen using CentreWare Internet Services. If 3 devices are already connected, follow the disconnection procedures below.

Disconnecting the Wi-Fi Direct

When the number of concurrent connections may have reached the upper limit (up to 3 devices) and cannot connect to any other devices, follow the procedures below for disconnection.

Disconnecting the Mobile Device from the Device Menu

- 1 Select [Disconnect Wi-fi Direct] under [Machine Status] > [Wireless LAN...]. All currently connected mobile devices will be disconnected.

Note

- To prevent automatic connection from the disconnected mobile devices, they cannot be connected to the Wi-Fi Direct for 30 seconds after the operation.

- 2 Select [Tools] > [System Settings] > [Connectivity & Network Setup] > [Wireless LAN Settings] and change [SSID Suffix] or [Passphrase] in the [Group Settings] menu. The Wi-Fi Direct group is reconstructed with a new SSID and passphrase to disconnect the mobile device.

Note

- When you reconnect the disconnected mobile device to the device, select the new SSID and enter the passphrase on the Wi-Fi settings screen on your mobile device.

Disconnecting the Device from the Mobile Device Menu

- 1 Open the Wi-Fi settings screen on your mobile device and turn off the Wi-Fi.

- 1) When “Auto Join” of the mobile device is enabled:

The mobile device reconnects to the Wi-Fi Direct of the device automatically even if the Wi-Fi connection is disconnected. When the number of connections reaches the upper limit due to this automatic connection, disable the “Auto Join” on your mobile device or proceed to step 2.

- 2) When “Auto Join” of the mobile device is disabled:

The Wi-Fi connection is canceled until you reconnect from the Wi-Fi settings screen on your mobile device.

Note

- “Auto Join” cannot be switched depending on the mobile device.

- 2 Open the Wi-Fi settings screen on your mobile device and select the SSID of the device in connection. Forget the Wi-Fi settings information saved on your mobile device.

Note

- When you reconnect the disconnected mobile device to the device, select the new SSID and enter the passphrase on the Wi-Fi settings screen on your mobile device.

Printing from Mobile Device

Print Utility (Android OS/iOS), AirPrint (iOS), and Mopria® (Android OS) allow you to send print jobs from mobile devices to the device. This section explains how to print from an Android device using Print Utility as an example.

Note

- You can download Print Utility for Android from Google Play™ and Print Utility for iOS from App Store.
- For more information on operation, refer to the instruction manual for your mobile device
- For more information on Print Utility, refer to our official web site.

- 1 Start [Fuji Xerox Print Utility].

- 2 Tap [Print] and select items you want to print.

- 3 Tap [Printer Setup] and select the desired device to print.

Note

- If the desired printer does not appear on the list, tap [Setup by Manual] and set the IP address of Wi-Fi Direct. You can check the IP address by referring the procedure in "Manual Connect on Android OS/iOS" (P.7).

Enabling iBeacon for Printers

You can instantly find nearby devices with iBeacon for Printers over *Bluetooth*® radio; thus you can select the desired device from the [Action] menu > [Print] > [Printer] on your iOS device when you print via AirPrint. PIN code entry is not required.

While Bonjour cannot search devices on the different subnet, iBeacon for Printers can find them.

- 1 Enter the device's IP address in the address box on the Web browser, and press the <Enter> key to start CentreWare Internet Services.

- 2 Click the [Properties] tab.

Note

- If the device prompts you for the system administrator's user ID and passcode, enter them.

- 3 Click [Connectivity] > [Protocols] > [Bluetooth Low Energy]. The [Bluetooth Low Energy] screen appears.

- 4 Select the [Bluetooth Low Energy Port Status] check box.

- 5 Select the [iBeacon for Printers] check box.

- 6 Click [Apply].

- 7 Click [Reboot Device]. The device reboots and iBeacon for Printers becomes effective.

Error Codes

If an error code is displayed on the device's display, refer to the error code in the following table to resolve problems.

Reference

- If an error code is displayed that is not listed in the following table, refer to the User Guide.

Error Code	Cause and Remedy
018-424	<p>[Cause] The root or client certificate for WPA-Enterprise does not exist.</p> <p>[Remedy] Register the root or client certificate in the device.</p> <p>If you cannot obtain any of these certificates, use an option other than WPA-Enterprise.</p>
018-425	<p>[Cause] The root or client certificate for WPA-Enterprise is invalid or could not be obtained.</p> <p>[Remedy] Check the certificate properties and register a valid root or client certificate in the device.</p> <p>If you cannot obtain any of these certificates, use an option other than WPA-Enterprise.</p>
018-426	<p>[Cause] The server certificate for WPA Enterprise is invalid or could not be obtained.</p> <p>[Remedy] • Check if the server certificate has not expired. Check the certificate format and digital signature algorithm are correct.</p> <p>• If you cannot have a valid server certificate, select an option other than WPA-Enterprise.</p>
018-427	<p>[Cause] Address range duplication between Wi-Fi and Wi-Fi Direct.</p> <p>[Remedy] Change the IP address setting of the DHCP server of Wi-Fi Direct to avoid duplication.</p>
018-428	<p>[Cause] The wireless LAN module is not connected correctly.</p> <p>[Remedy] Turn off the device, and then check the connection.</p>
018-429	<p>[Cause] IPv4 address duplication on the network used for Wi-Fi.</p> <p>[Remedy] Change the IPv4 address of either the device or the device on the network.</p>
018-430	<p>[Cause] IPv4 address duplication on the network used for Wi-Fi Direct.</p> <p>[Remedy] Change the IPv4 address of either the device or the device on the network.</p>
018-431	<p>[Cause] IPv6 address (self-assigned address 1 or DHCPv6 address) duplication on the network used for Wi-Fi.</p> <p>[Remedy] Change the IPv6 address of the device on the network.</p>

Error Code	Cause and Remedy
018-432	<p>[Cause] IPv6 address (self-assigned address 2) duplication on the network used for Wi-Fi.</p> <p>[Remedy] Change the IPv6 address of the device on the network.</p>
018-433	<p>[Cause] IPv6 address (self-assigned address 3) duplication on the network used for Wi-Fi.</p> <p>[Remedy] Change the IPv6 address of the device on the network.</p>
018-434	<p>[Cause] The IPv6 address (manual) is invalid on the network used for Wi-Fi.</p> <p>[Remedy] Change the IPv6 address manually configured for the device.</p>
018-435	<p>[Cause] IPv6 address (manual) duplication on the network used for Wi-Fi.</p> <p>[Remedy] Change the IPv6 address manually configured for the device, or change the address of the device.</p>
018-436	<p>[Cause] The link-local address of the device is duplicated on the network used for Wi-Fi.</p> <p>[Remedy] Change the IPv6 address of the device of the network.</p>
018-439	<p>[Cause] Wi-Fi Direct error due to Ad hoc confliction.</p> <p>[Remedy] Change [Communication Mode] to [Infrastructure].</p>
018-440	<p>[Cause] Wi-Fi Direct error due to IPv6 confliction.</p> <p>[Remedy] Change [IP Mode] to [Dual Stack] or [IPv4 Mode].</p>
018-441	<p>[Cause] Wi-Fi Direct error due to 5 GHz mode confliction.</p> <p>[Remedy] Change [Operating Frequency Band] to [Auto] or [2.4 GHz].</p>
018-443	<p>[Cause] Updating of the IPv4 address and host name for the DNS server failed on the network used for Wi-Fi.</p> <p>[Remedy] Check whether the IP address of the DNS server is set correctly.</p>
018-444	<p>[Cause] Updating of the IPv6 address and host name for the DNS server failed on the network used for Wi-Fi.</p> <p>[Remedy] Check whether the IP address of the DNS server is set correctly.</p>

Notes and Restrictions

- When the wired LAN (Ethernet1) is set to the Primary Network, the following features are not available via Wi-Fi connection or Wi-Fi- Direct connection through the wireless LAN.
 - Network Scanner Utility 3
 - Scan to PC

- Store to WSD
- Image scanning feature of the Print Utility

Note

- WSD stands for Web Services on Devices.

Specifications

This section lists the main specifications of the kit. Note that the specifications and the appearance of the product may change without prior notice.

■ Wi-Fi

Item	Description
Specification	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 1Tx1R (theoretical value: 390 Mbps)
Transmission Method*1	IEEE 802.11a 5 GHz (modulation scheme: OFDM) IEEE 802.11b 2.4 GHz (modulation scheme: DS-SS) IEEE 802.11g 2.4 GHz (modulation scheme: OFDM) IEEE 802.11n 5 GHz /2.4 GHz (modulation scheme: OFDM) IEEE 802.11ac 5 GHz (modulation scheme: OFDM) • Aggregation method: A-MPDU receive and A-MSDU • HT20, HT40 mode (high-throughput mode), VHT80 mode (very high-throughput mode)
Authentication/ Encryption Method*2	WPA2-PSK (AES) Mixed mode Personal (AES/TKIP) WEP (64 bit/128 bit) WPA2-Enterprise (AES) Mixed mode Enterprise (AES/TKIP) IEEE 802.1x (PEAPv0/EAP-TLS/EAP-TTLS)
Channel*3	2.4 GHz band: 1 to 13 ch 5 GHz band: 36 to 64 ch, 100 to 140 ch
Antenna	Internal 2.4 GHz/5 GHz dual band
Dimension	45 x 35 x 33 mm
Weight	22 g

*1 :For Wi-Fi Direct mode, IEEE 802.11a/b/g/n; for Wi-Fi Adhoc mode: IEEE802.11b/g

*2 :For Wi-Fi Direct mode, WPA2-PSK (AES); for Wi-Fi Adhoc mode, WEP

*3 :For Wi-Fi Adhoc mode, 2.4 GHz band only

Important

- Concurrent operation with Wi-Fi Infrastructure is available in the Wi-Fi Direct mode.
- Up to three devices can be connected in Wi-Fi Direct mode.

■ Bluetooth

Item	Description
Specification	Version 4.2 (LE)
Channel	2402 to 2480 MHz (bandwidth: 2 MHz)
Antenna	Internal 2.4 GHz
Dimension	45 x 35 x 33 mm
Weight	22 g

Complies with
IMDA Standards
DB02245

Wireless Network Kit 使用说明书 (设定篇)

感谢您购买 Wireless Network Kit。

要安全使用组件，请务必阅读本指南中的下列“警告”以及机器附带的“安全注意事项”。

可以在本公司官方网站上查看 Wireless Network Kit 设置指南。

若要下载 Wireless Network Kit 使用说明书 (设定篇)，打开以下链接并选择所需的机型，然后选择文档标签。通信费用将由用户承担。

<https://onlinesupport.fujixerox.com/>



警告



1. 确保在有效无线通信范围内使用本设备，如下所示：



使用频率：2.4 - 2.4835 GHz

等效全向辐射功率 (EIRP)：天线增益 < 10 dBi 时：≤ 100 mW 或 ≤ 20 dBm

最大功率谱密度：天线增益 < 10 dBi 时：≤ 10 dBm / MHz (EIRP)

载频容限：20 ppm

带外发射功率 (在 2.4 - 2.4835 GHz 频段以外)

≤ -80 dBm / Hz (EIRP)

杂散发射 (辐射) 功率 (对应载波 ± 2.5 倍信道带宽以外)：

≤ -36 dBm / 100k Hz (30 - 1000 MHz)

≤ -33 dBm / 100k Hz (2.4 - 2.4835 GHz)

≤ -40 dBm / 1 MHz (3.4 - 3.53 GHz)

≤ -40 dBm / 1 MHz (5.725 - 5.85 GHz)

≤ -30 dBm / 1 MHz (其它 1 - 12.75 GHz)



工作频率范围：5150 - 5350 MHz 等效全向辐射功率 (EIRP)：≤ 200 mW

最大功率谱密度：≤ 10 dBm / MHz

载频容限：20 ppm

带外发射功率 (EIRP)：≤ -80 dBm / Hz

杂散发射 (辐射) 功率：≤ -36 dBm / 100 kHz (30 ~ 1000 MHz)

≤ -54 dBm / 100 kHz (48.5 - 72.5 MHz, 76 - 118 MHz, 167 - 223 MHz, 470 - 798 MHz)

≤ -40 dBm / 1 MHz (2400 ~ 2483.5 MHz)

≤ -33 dBm / 100 KHz (5150 ~ 5350 MHz)

≤ -40 dBm / 1 MHz (5470 ~ 5850 MHz)

≤ -30 dBm / 1 MHz (其它 1 ~ 40G Hz)



工作频率范围：5725 - 5850 MHz

发射功率：≤ 500 mW 和 ≤ 27 dBm

等效全向辐射功率 (EIRP)：≤ 2 W 和 ≤ 33 dBm

最大功率谱密度：≤ 13 dBm / MHz 和 ≤ 19 dBm / MHz (EIRP)

载频容限：20 ppm

带外发射功率 (EIRP)：≤ -80 dBm / Hz (≤ 5725 MHz 或 ≥ 5850 MHz)

杂散发射 (辐射) 功率：≤ -36 dBm / 100 kHz (30 ~ 1000 MHz)

≤ -40 dBm / 1 MHz (2400 ~ 2483.5 MHz)

≤ -40 dBm / 1 MHz (3400 ~ 3530 MHz)

≤ -33 dBm / 100 kHz (5725 ~ 5850 MHz)

(注：对应载波 2.5 倍信道带宽以外)

≤ -30 dBm / 1 MHz (其它 1 ~ 40 GHz)

2. 不得擅自更改发射频率、加大发射功率 (包括额外加装射频功率放大器)，不得擅自外接天线或改用其它发射天线；

3. 使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰；

一旦发现有干扰现象时，应立即停止使用，并采取消除措施消除后方可继续使用；

4. 使用微功率无线电设备，必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰；

5. 不得在飞机和机场附近使用；

Wireless Network Kit 設定手冊

感謝您購買 Wireless Network Kit。

為了使用配件時的安全，請務必詳閱本說明書中的以下「警告」事項，以及隨附於本機中的「為了機器的安全使用」。

您可在官方網站上查閱 Wireless Network Kit 的安裝說明書。

若要下載 Wireless Network Kit 設定手冊，打開以下網址並選擇所需的機型，然後選擇說明文件標籤。連線相關費用則需由您自行支付。

<https://onlinesupport.fujixerox.com/>



警告

依據低功率電波輻射性電機管理辦法，如下所示：



第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信規定作業之無線電信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。



本設備在 5.25 ~ 5.35 GHz 頻帶內操作時，限於室內使用。

Slave: 本器材不具主控運作模式動態頻率選擇及受控運作模式動態頻率選擇不具 active scan or Ad-hoc 功能。

Wireless Network Kit 설치 가이드

기자재 명칭 특정 소출력 무선기기(무선랜을 포함한 무선접속시스템용 무선기기)
Equipment Name

Wireless Network Kit를 구매해 주셔서 감사합니다.
키트를 안전하게 사용하려면 기기와 함께 제공된 이 가이드의 다음 "경고"와 "안전하게 사용하기 위하여"를 반드시 읽어 주십시오.

당사 웹사이트에서 Wireless Network Kit의 설치 안내를 보실 수 있습니다.
Wireless Network Kit 설치 가이드를 다운로드하려면, 다음 URL을 열어 원하는 모델의 선택한 다음 매뉴얼 탭을 선택하십시오. 통신 요금은 사용자 부담입니다.
<https://onlinesupport.fujixerox.com/>

⚠ 경고



무선기기에대한법규사항

⚠ 해당무선설비는운용중전파혼신가능성이있음
해당무선설비는전파혼신가능성이있으므로인명안전과관련된서비스는할수없습니다

본기기는통상이용상태의경우인체(머리, 몸통)와 20 cm
초과하는거리에서사용되어야합니다

B급기기 (가정용방송통신기자재)

⚠ 이기기는가정용(B급) 전자파적합기기로서주로그정에서사용하는것을목적으로하며,
모든지역에서사용할수있습니다.

คำแนะนำในการติดตั้ง Wireless Network Kit

ขอขอบคุณที่ซื้อชุด Wireless Network Kit
ในการใช้งานชุดอย่างปลอดภัย โปรดทำให้อย่างมั่นใจว่าได้อ่าน "คำเตือน" ในคู่มือนี้และ คู่มือความปลอดภัย
ที่มาพร้อมกับเครื่อง

คุณสามารถดูคู่มือการติดตั้งของชุด Wireless Network Kit บนเว็บไซต์ทางการของเรา
ในการดาวน์โหลดคำแนะนำในการติดตั้ง Wireless Network Kit ให้เปิด URL
ต่อไปนี้และเลือกรูปแบบที่ต้องการจากนั้นเลือกแท็บเอกสารคู่มือการใช้งาน
อาจมีค่าใช้จ่ายในการเชื่อมต่อสัญญาณ
<https://onlinesupport.fujixerox.com/>

⚠ คำเตือน



About telecommunication equipment

⚠ This telecommunication equipment conforms to NTC technical requirement.

Hướng dẫn Thiết lập Wireless Network Kit

Cảm ơn bạn đã mua Wireless Network Kit.
Trước khi sử dụng bộ mạng an toàn, nhớ đọc Lưu ý về an toàn được cung cấp kèm theo máy.

Bạn có thể xem Hướng dẫn thiết lập Wireless Network Kit trên trang web chính thức của chúng tôi.
Để tải Hướng dẫn Thiết lập Wireless Network Kit, mở URL sau đây và chọn kiểu máy mong muốn, sau đó chọn tab Ghi chép hồ sơ. Phí hoạt động giao tiếp sẽ do bạn chi trả.
<https://onlinesupport.fujixerox.com/>



制造商：富士施乐有限公司
进口商：富士施乐实业发展（中国）有限公司
地址：中国（上海）自由贸易试验区日京路79号8层D单元
您可在中国任何地区拨打富士施乐免费服务热线电话：
800-820-5146（固定电话）400-820-5146（手机）

November 2019 DE6284Z7-6 Edition 1
Copyright © 2019 by Fuji Xerox Co., Ltd.

越南印刷 Printed in Vietnam

本书所使用的纸张未使用盐素类漂白剂。



604E 88575